

*
2020年度

* こどもニュース *

7/7 発行

7月に入り、各地に豪雨被害が相次ぎました。親戚やお知り合いに被災された方はいらっしゃるいませんか。また徐々に新型コロナウイルスに感染される方が首都圏を中心に増えています。不安と落ち着かなさは常に付きまといまいます。それでも日常を無意味に過ごすわけにはまいりません。

安全な生活や経済的な保障が当たり前のように感じられた今まで、しかし私たちも生まれる国が違っていれば、新型ウイルス以外のことにも命の危機に脅かされる日々を過ごさなくてはならなかったかも知れません。明日の命も保障されない生活を送っている人々や、病気になっても自然治癒力に頼る他無い人々、銃弾や爆撃の危険と隣り合わせで生活をしている人々、私たちには想像もできない状況下に暮らす人々がいることをつい忘れてしまうのです。「愛」に反することは「無関心」であるとマザー・テレサが言いました。

子ども達には恐怖を与えるためではなく、無関心ではいて欲しくないですし、そのための発信は必要なことです。感謝することや自他への愛情を持ち続けてほしいと願います。

今苦しむ方々に出来ることは何でしょう。子ども達、保護者の皆様と考え行動への第一歩としていきたいと思えます。

さて、今は通常保育の日々が与えられとても感謝しています。いろいろと変化のある今年度の保育ですが、子ども達は「今日」を精いっぱい楽しめる天才ですね。大人は先のことをあれこれと思いつめぐらせ悩みますが、明日は思っていることとは違うことが起こるかもしれないし、悩まなくてもよかったと思えることもあります。子どもは素敵！子どもになりたい！と思う今日この頃です。

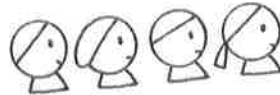
そのような子ども達の生活の一部である「年齢別あつまり」を今回はニュースとしてお知らせいたします。

馬淵宣子

ねんしょう あつまり

7月から年少さん45名とあき先生、あゆみ先生、りな先生、あきこ先生、けいこ先生、井倉めぐみ先生で始まった「あつまり」。「あつまり」の時間は、各学年ごとで活動をし、年少さんだからこそ知ってほしいことや、経験してほしいことを中心に行っていきます。

初めてのあつまりの日。全員がはと組に集まって、顔合わせをしました。「はとぐみさん♪お立ちください♪」と各クラスを呼んでみましたが、あれ？あれれ？何だか人数が少ないぞ…(笑)緊張して固まっている子もいましたが、歌を歌ったり、手遊びをしたりして楽しんでいました。



☆楽しい遊びがいっぱい！

年少さんにとって初めての学年のあつまり。まずは“あつまりって楽しい！”と思ってもらえるようにワクワクするような遊びのコーナーをいくつか用意しました。机いっぱいの大きな模造紙に描くお絵描きコーナー、粘土遊びコーナー、ミッキートレイン(電車)、新聞紙遊びコーナー。年少さんってすごい！と思ったのは、どの子も自分で好きな遊びを選んで楽しめたことです。簡単そうで一番難しいことを年少さんはできてしまってびっくり！！



☆新聞紙遊びでは・・・

保育者が新聞紙を破る姿を見て、「私もやるー！」「僕もやっていい？」とすぐに興味を示してくれた年少さん。ビリビリ細長く破ったり、破った新聞紙を雪のように降らせたり、最後はみんなでごみ袋に破った新聞紙を入れて大きなボールにして投げて遊びました。どの遊びにも全力投球で目をキラキラさせて遊ぶ年少さんがとっても可愛かったです。



☆片付けもできちゃうよ

「イスを片付けて自分が使ったものを片付けられるかな？」と声を掛けるとなんとほぼ全員の子がイスを片付けてくれました。あっという間に部屋がきれいになってびっくり！！年少さんってすごい！と思った2つ目のことでした。

これからあつまりの中で様々な活動を経験し、思いっきり楽しんでいきたいとします。そしてクラス関係なく友だちや先生と一緒に楽しいなと思えるようなあつまりにしていきたいとします。

(Ayumi & Aki & Rina)



年中あつまり



☆年中あつまり 1回目☆

今年度初めてのあつまり。まずは紹介からスタートしました。ゆか T まお T ゆうこ T の3人が担当です！よろしくお願いします！そして、新たに年中さんから仲間入りした3人のお友だちにも自己紹介してもらいました！

年中あつまりでやりたいことを皆に聞いてみました。すると年少あつまりで経験したことをよく覚えていて、「白玉だんごおいしかった〜」「手形ぺったんしたよ」「粘土やりたい！」「折り紙したい」と年少の時に経験して印象に残っていることを発言してくれました。

他には、おにごっこ(バナナオニ・ふやしオニ)、かくれんぼなど外遊びがよく出ていました。身体を動かすことが大好きな年中さんと、あつまりでどのような取り組みをしようか…様々な経験が出来るようにと計画中です。お楽しみに！

☆年中あつまり 2回目☆



2回目の年中あつまりは芋畑への散歩を予定していたのですが、あいにくの雨模様……。そこで、ひつじぐみ・ぶどうぐみのお部屋をオープンにして、身体を動かして遊びました。

最初にしたのは、リトルコーンを使ってのバー跳び。雨の日の遊戯室の遊びの定番になっているのですが、説明を聞いていた子どもたちからは「大きいの、跳んだことない……」という声も。そう、リトルコーンは大と小の2種類のサイズがあるのです！けれど、そんな自信のない表情も、やり始めてしまえばあっという間にどこかへ。走る姿も跳ぶ姿も、年少の頃を思い返せば随分と様になっていました。また、待っている間もお友達を応援する声がどんどん大きくなって行って、そういった姿にも年中さんらしさを感じました。

お次は、玉入れ！あつまりが始まる前から、年中さんから「玉入れしたい！」という声が上がっていました。かごに向けてよく狙っている子が多く、投げた後も次の玉を積極的に探していて、やる気満々の姿がいっぱいでした。

最後に、次はお散歩に行きたいね、という話をしたのですが、「晴れるようにお祈りしようよ！」という声が上がりました。年少として過ごした一年間の上に年中さんがあることを見せてくれたように感じたあつまりの時間でした。

まお、え、ゆか。

年長あつまり



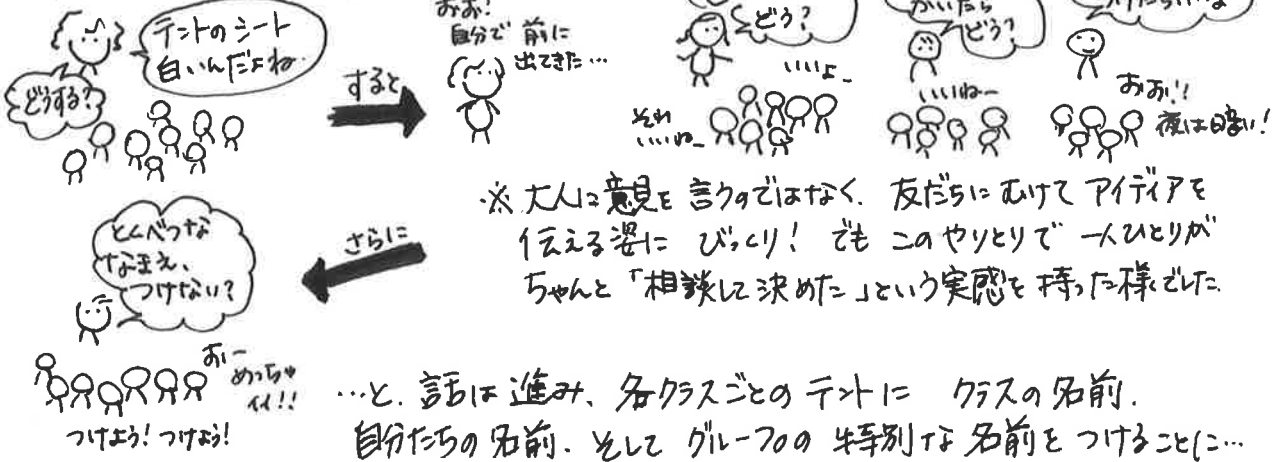
10日の年長児懇談会は、雨天のため延期を重ねたややこしい日程であったにも関わらず、たくさんのおうちの方のご参加をいただき本当にありがとうございました！

就学にむけたこの1年の過ごし方、「5歳児の育ち(発達)」のお話しと共に今の年長さんの姿や遊び、また9月に予定しているキャンプにむけての様子、年長担当の熱い思いも伝えさせていただきました。これからもおうちの方と一緒にこども達の成長を支えていきたいと思ひます！今回は、懇談会でもお話しした「年長あつまりエピソード集」です。

<キャンプといえばテントでしょ>

年長あつまりは、子どもたちと相談して活動を決めていきます。

「キャンプでは何したい?」と問いかけると「キャンプといえばテントでしょ!」との意見。さっそく白石先生とテントを試作しました。



<年長さんは話し合いが大切>

年長児は「ともだちと一緒に」ということがとっても楽しくなる時期。しかも少しむずかしい事に一緒に挑戦したい、という気持ちも育つ時期でもあります。そのためにはお互いの意見を話し合い、認めあう事が大事です。今回は自分のクラスのテントに

「特別な名前をつける」ための話し合いを行なうことに...

集まる場所はひと回り順調 →



★はと「かたこはやいグループ」

午前中
意見がバラバラで決まらず...

午後
みんながキチンとみんなのたのしいことないか？

あ！かたこは？ 「はやいもいよー」
いーやー そーしー オーツ

⇒ 決定！

★はし「ほしぐみとかちゃんぐるーぶ」

せんせー ききた！

ほしぐみぐるーぶ！

ほしさんで だいじなものほ？

とかちゃん！
とかちゃんに なしろう！

とかちゃん(トカゲ)を飼った共通体験が いきましたね。

エビカササヒ トカゲとかちゃんかーが

⇒ 決定！

★ゆり「せかいなわとびに、ほんからこいいぐるーぶ」

まず、エビツを誰かもついで、大ザンカ...

わたしが！ ほか！ ほか！

そんな中でもマイペースに いい意見が...

せかいぐるーぶとかい...

せかいなわとび？ みんながだいじにし...

こい... せきた！

こい全部いれよう！

⇒ 決定！

★うっじ「どあららいじんぐるーぶ」

中日のあ せきやうに はやいー

男子

せきやうしやー たんじー

女子

かたこは... 交考か!!

どあらら？

どあらら？ かわいから せきやうて...

らいいんて？ どうして？

みんなの意味 わかんないけど かわいから せきやうて...

⇒ 決定！

★ばどく「みんながすきなぐるーぶ」

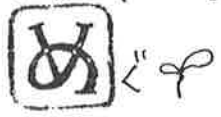
まず、みんながすきなものをかいてー

みんながすきなぐるーぶは？

⇒ 決定!!

各クラスとも、名前を決め、設計図を作り、幅4mもあるテントの屋根の部分のシートに絵を描いています。話しあいを重ねると、意見の出し方、やりあいのつけ方も上手になってきました。

16日(木)には白石先生と一緒にテントを張り、お弁当もテントの中で食べる予定!! どんなテントになるか、皆さんおたのしみ!!



いろいろ取り組んでいます

年長児のやりたいことに入っていたリズム、繰り返し楽しんでいきます。特に子ども達から「やりたい」と声が上がっていた側転はクオリティーがどんどん上がっています!!

=年長になって初めてのリズム=

足の裏でしっかりと床を掴む感覚を知って欲しいので、靴と靴下を脱いでリズムをします。まずは、思い切り走ってみました。遊戯室の中を大きく輪を描くように走ってみようと声をかけていくと、ドタドタと走っていた子ども手の振りが良くなり、足が遠くに出るようになっていきました。そして側転では、昨年の年長に憧れコツコツと繰り返し練習していた子ども達が、待ってましたと勢いよく前に出て、側転に取り組んでいました。一方でその姿を見て腰がひけてしまった子ども達もいました。

=その後のリズム=

2回目以降、子ども達が裸足になり、リズムの始まりを待っている姿が見られるようになりました。そして遊戯室を走ると、なんと風が起るようになりました!フォームも驚くほど綺麗になっています。また♪トンボというリズムでは、ピアノの音が変わるのをよく聞いて反対回りになる事にもチャレンジしてみました。音を聞いて判断し、瞬時に行動に移すことは結構難しい~。そこでは、子ども同士で教え合っていたり、周りを見て気づいていく姿があります。

さて側転の方はどうなったかということ...側転を楽しそうにしている友だちの動きをじっと見てみたり、側転を教えると言ってくる子が増えて、どんどん側転を楽しむ子ども達が増えていきます。またこの6月に来てくださった実習生さんが新体操をしていたと聞き、側転を見せてもらいました。子ども達には「もっと綺麗に側転がしたい」と新たな目標ができました。

更に憧れていたのが、三つ編みの縄跳びです。

3本の布を結んで三つ編み開始。



3.3mの布を三つ編みするのは、とても根気のいる活動ですが、どの子ども自分のペースで楽しみながら編んでいます。しかし最初から楽しめたわけではありません。初めての三つ編みに四苦八苦する子が多く居ました。また編み慣れている子どもふとした時に網目をとばしてしまい、ほどいて編み直すこともありました。そこでは子ども同士が教え合ったり、励ましあったりと暖かいやりとりが見られます。